



2022年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年11月9日

上場会社名 永大化工株式会社

上場取引所 東

コード番号 7877 URL <https://www.eidaikako.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浦 義則

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 田中 敏幸

TEL 06-6791-3355

四半期報告書提出予定日 2021年11月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	4,188	25.8	160		185	710.7	121	
2021年3月期第2四半期	3,329	18.5	11	94.1	22	86.9	1	

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 157百万円 (%) 2021年3月期第2四半期 11百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	88.16	
2021年3月期第2四半期	1.04	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	9,497	6,932	73.0
2021年3月期	9,585	6,894	71.9

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 6,932百万円 2021年3月期 6,894百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		67.50	67.50
2022年3月期		0.00			
2022年3月期(予想)				67.50	67.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,000	3.9	300	29.4	300	15.6	180	11.3	130.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期2Q	1,460,000 株	2021年3月期	1,460,000 株
期末自己株式数	2022年3月期2Q	96,204 株	2021年3月期	80,204 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期2Q	1,373,590 株	2021年3月期2Q	1,412,216 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴い緊急事態宣言が再発出され、経済活動や社会活動が制限されるなど厳しい状況が続くなか、各種経済施策の効果やワクチン接種の進展による経済活動の回復が期待されるものの、一方で、世界的な半導体不足や東南アジアでの新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴う部品不足による自動車メーカーの減産が及ぼす影響や原材料価格の高騰による企業業績への下振れリスクの高まりが懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済環境のもと、当社グループの業界におきましては、世界的な景気回復の見通しを背景に原油価格の高騰および円安基調などから原材料価格の上昇やコンテナ不足による物流費の上昇、半導体不足による自動車メーカーの車生産の減産継続の影響など懸念材料もあるなか、引き続き利益率の改善のためコスト削減等に努めてまいりました。その結果、売上高41億88百万円（前年同期比25.8%増）、営業利益1億60百万円（前年同期比1326.5%増）、経常利益1億85百万円（前年同期比710.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1億21百万円（前年同期は△1百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 自動車用品関連

自動車用品関連につきましては、前年同期の新型コロナウイルス感染症拡大に伴う自動車生産台数の生産調整・休止等による大幅な減産からの回復により、国内自動車販売台数は前年同期比で増加したこと、一部の新型車の受注が好調であったことなどから自動車用フロアマットの売上は増加しましたが、半導体不足による自動車メーカーの車生産の減産継続の生産調整等の影響は、未だ継続している状況であります。その結果、売上高25億90百万円（前年同期比29.2%増）、営業利益1億24百万円（前年同期は△36百万円）となりました。

② 産業資材関連

産業資材関連につきましては、ICデバイス・各種電子部品の搬送や保管等に用いるマガジンスティックは、半導体の供給懸念があるなか旺盛な需要で売上は順調に推移いたしました。住宅用建材向け部材については、受注増加に伴い売上は好調に推移いたしました。エクステリア向けデッキ材については、住居の快適な庭空間ニーズの高まり等による受注が堅調であったことから売上は好調に推移いたしました。一方、損益面については、原油高に伴う原材料価格の上昇により材料コスト負担の影響を受けたことなどから、売上高15億98百万円（前年同期比20.6%増）営業利益36百万円（前年同期比23.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当社グループは、適切な流動性の維持、事業活動のための資金確保、および健全なバランスシートの維持を財務方針としております。

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、94億97百万円となり、前連結会計年度末と比較して88百万円の減少となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比較して64百万円の減少となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金の減少44百万円、棚卸資産の減少51百万円、その他の増加35百万円によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して23百万円の減少となりました。その主な要因は、有形固定資産の減少15百万円、投資その他の資産の減少10百万円によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、25億64百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億26百万円の減少となりました。

流動負債は、前連結会計年度末と比較して1億円の減少となりました。その主な要因は、電子記録債務の増加21百万円、短期借入金の減少88百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加60百万円、未払法人税等の減少27百万円、賞与引当金の減少37百万円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して25百万円の減少となりました。その主な要因は、長期借入金の減少34百万円、役員退職慰労引当金の増加3百万円、退職給付に係る負債の増加4百万円によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、69億32百万円となり、前連結会計年度末と比較して38百万円の増加となりました。その主な要因は、利益剰余金の増加27百万円、自己株式の取得による減少26百万円、為替換算調整勘定の増加42百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況につきましては、現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は23億27百万円と前連結会計年度末と比較して6百万円の減少となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

税金等調整前四半期純利益が1億85百万円、減価償却費1億22百万円、賞与引当金の減少38百万円、売上債権の減少66百万円、棚卸資産の減少85百万円、仕入債務の減少29百万円などにより、当第2四半期連結累計期間における資金の収入は2億56百万円となり、前第2四半期連結累計期間と比較して37百万円の収入減少となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

有形固定資産の取得による支出97百万円などにより、当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の支出は98百万円となり、前第2四半期連結累計期間と比較して16百万円の支出増加となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

短期借入金の減少88百万円、長期借入による収入1億25百万円、長期借入金の返済による支出98百万円、配当金の支払による支出93百万円などにより、当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の支出は1億81百万円となり、前第2四半期連結累計期間と比較して38百万円の支出減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の通期の連結業績予想については、2021年5月13日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,333,075	2,327,012
受取手形及び売掛金	1,769,882	1,725,259
商品及び製品	747,999	610,911
仕掛品	136,473	133,802
原材料及び貯蔵品	675,217	763,386
未収入金	81,102	84,986
未収還付法人税等	2,147	—
その他	34,279	70,248
流動資産合計	5,780,179	5,715,608
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	702,092	686,530
土地	1,842,844	1,842,844
その他（純額）	539,102	538,733
有形固定資産合計	3,084,039	3,068,108
無形固定資産		
土地使用権	180,158	187,983
その他	42,790	37,937
無形固定資産合計	222,948	225,921
投資その他の資産		
繰延税金資産	55,452	40,014
その他	443,271	448,137
投資その他の資産合計	498,723	488,151
固定資産合計	3,805,711	3,782,181
資産合計	9,585,891	9,497,789
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	609,030	608,704
電子記録債務	367,419	388,452
短期借入金	175,500	87,500
1年内返済予定の長期借入金	116,004	176,604
未払法人税等	89,723	62,251
賞与引当金	131,381	93,896
役員賞与引当金	9,525	—
その他	271,434	251,799
流動負債合計	1,770,017	1,669,209
固定負債		
長期借入金	534,593	500,137
繰延税金負債	34,226	35,418
再評価に係る繰延税金負債	281,303	281,303
役員退職慰労引当金	29,186	32,438
退職給付に係る負債	41,783	46,486
固定負債合計	921,091	895,783
負債合計	2,691,109	2,564,992

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,241,700	1,241,700
資本剰余金	1,271,253	1,271,253
利益剰余金	3,942,450	3,970,411
自己株式	△119,016	△145,747
株主資本合計	6,336,388	6,337,617
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	46,293	39,514
土地再評価差額金	476,930	476,930
為替換算調整勘定	29,826	72,746
退職給付に係る調整累計額	5,343	5,987
その他の包括利益累計額合計	558,393	595,178
非支配株主持分	—	—
純資産合計	6,894,781	6,932,796
負債純資産合計	9,585,891	9,497,789

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
売上高	3,329,925	4,188,810
売上原価	2,609,642	3,199,337
売上総利益	720,282	989,473
販売費及び一般管理費	709,010	828,669
営業利益	11,272	160,804
営業外収益		
受取利息	100	102
受取配当金	2,617	647
為替差益	—	21,631
助成金収入	14,395	—
その他	12,705	10,990
営業外収益合計	29,819	33,371
営業外費用		
支払利息	3,108	2,835
為替差損	10,752	—
訴訟関連費用	—	3,360
その他	4,388	2,790
営業外費用合計	18,249	8,985
経常利益	22,842	185,189
特別利益		
固定資産売却益	206	—
特別利益合計	206	—
特別損失		
固定資産除却損	1,737	185
特別損失合計	1,737	185
税金等調整前四半期純利益	21,310	185,004
法人税、住民税及び事業税	18,245	44,184
法人税等調整額	4,533	19,722
法人税等合計	22,778	63,907
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,467	121,096
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,467	121,096

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,467	121,096
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,149	△6,779
繰延ヘッジ損益	△1,927	—
為替換算調整勘定	△21,008	42,920
退職給付に係る調整額	2,870	644
その他の包括利益合計	△9,915	36,785
四半期包括利益	△11,383	157,882
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△11,383	157,882
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	21,310	185,004
減価償却費	136,106	122,057
賞与引当金の増減額(△は減少)	△33,445	△38,274
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1,875	3,252
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△9,525	△9,525
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△3,436	△2,968
受取利息及び受取配当金	△2,718	△749
助成金収入	△14,395	—
支払利息	3,108	2,835
為替差損益(△は益)	1,100	△2,279
有形固定資産除売却損益(△は益)	1,531	185
売上債権の増減額(△は増加)	268,162	66,224
棚卸資産の増減額(△は増加)	114,199	85,461
仕入債務の増減額(△は減少)	△187,131	△29,220
その他の資産・負債の増減額	△34,830	△51,816
小計	261,913	330,186
利息及び配当金の受取額	3,028	1,059
利息の支払額	△2,999	△2,946
助成金の受取額	14,395	—
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	17,456	△71,869
営業活動によるキャッシュ・フロー	293,793	256,428
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△86,651	△97,886
有形固定資産の売却による収入	17,538	2,949
無形固定資産の取得による支出	△480	—
投資有価証券の取得による支出	△757	△621
保険積立金の積立による支出	△9,958	△10,816
差入保証金の回収による収入	—	8,278
その他	△810	74
投資活動によるキャッシュ・フロー	△81,119	△98,023
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	30,000	△88,000
長期借入れによる収入	—	125,000
長期借入金の返済による支出	△132,559	△98,856
自己株式の取得による支出	△25,800	△26,730
配当金の支払額	△92,228	△93,136
財務活動によるキャッシュ・フロー	△220,587	△181,723
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,231	17,255
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△13,144	△6,062
現金及び現金同等物の期首残高	2,160,872	2,333,075
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,147,727	2,327,012

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取れると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより、有償支給取引につき、従来は有償支給した支給品について消滅を認識しておりましたが、支給品を買い戻す義務を負っている場合、当該支給品の消滅を認識しない方法に変更しております。これによる当第2四半期連結累計期間の売上高、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項のただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、利益剰余金の当期首残高に与える影響はありません。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の重要な会計上の見積りに記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	自動車用品関連	産業資材関連	計
売上高			
外部顧客への売上高	2,004,472	1,325,453	3,329,925
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	2,004,472	1,325,453	3,329,925
セグメント利益又は損失(△)	△36,558	47,830	11,272

(注) セグメント利益又は損失の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	自動車用品関連	産業資材関連	計
売上高			
外部顧客への売上高	2,590,189	1,598,621	4,188,810
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	2,590,189	1,598,621	4,188,810
セグメント利益	124,428	36,375	160,804

(注) セグメント利益の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。